

日本からの手紙

「文京区立森鷗外記念館所蔵」

滞独時代
森鷗外宛
1884-
1886

森鷗外宛の手紙

滞独時代

森鷗外宛

1884-1886

森鷗外宛

1884-1886

森鷗外宛

1884-1886

森鷗外宛

1884-1886

森鷗外宛



『日本からの手紙〔文京区立森鷗外記念館所蔵〕滞独時代森鷗外宛 1884-1886』 書簡集の刊行に寄せて

山崎一穎（跡見学園女子大学名誉教授・森鷗外記念会顧問）

鷗外は明治17(1884)年8月から21(1888)年7月まで、留学先のドイツ国に滞在しました。この間、家族や友人・知人が鷗外に寄せた書簡を鷗外は大判のノート4冊に貼り込み帰国しました。前半のノート2冊に収められた151通は、文京区立森鷗外記念館が所蔵し、後半2冊に収められた121通は、公益財団法人日本近代文学館が所蔵しています。

日本近代文学館はすでに『日本からの手紙〔日本近代文学館蔵〕滞独時代森鷗外宛書簡 1886-1888』として刊行しています。このたび、文京区立森鷗外記念館が前半の書簡を活字化して刊行します。既刊の書簡で隔靴搔痒の感があった事柄の発端が、今初めて明らかになるのです。

鷗外の留学が家族ぐるみの留学であったことが浮彫りになります。国内の動きはもとより、観劇の詳細な報告、兄を励ます姿、妹キミの女学校進学問題、父親らしい心遣い、同級生間の微妙な感情も垣間見られます。

本書が文学愛好者、研究者に裨益すること大なることを確信しています。刊行にあたり関係各位のご厚情に感謝申し上げます。

日本からの手紙

〔文京区立森鷗外記念館所蔵〕
滞独時代森鷗外宛
1884-1886



文京区立森鷗外記念館

編集・発行：文京区立森鷗外記念館
調査・執筆：森鷗外記念会
定価：12,000円（税込）
A5判・上製・380頁（予定）